

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

■日比谷図書文化館 データベース講座
PICK UP VOL.20: Westlaw Japan
Westlaw Japanを使った法情報の調べ方

法律総合データベース「Westlaw Japan」を使用し、判例や法情報の基本的な調べ方や活用方法を学びます。通常のデータベースのご利用は、館内端末でのご提供となりますが、当講座は、講座用トライアルID(当日のみ有効)を利用して、ご持参のパソコンやタブレットでも受講できます。

- 日時：11月20日(水) 18時30分～19時30分
- 講師：上田 茂斉(ウエストロー・ジャパン株式会社)
- 会場：2階 図書フロア カウンター前
- 参加費：無料 申込・受付不要、途中参加・退席可

Westlaw Japanとは?
法令、判例、審決等、書籍・雑誌、文献情報、ニュース記事など、あらゆる法律情報を検索できる日本法の法律総合データベースです。

11月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 三角台
1階特別展「鹿島茂コレクション」
アール・デコの造本芸術 関連展示 (～12/25) NEW!
10月24日から始まった特別展にあわせて、フランス文学者鹿島茂の著書を紹介しています。また、アール・デコというデザイン様式に関する本をイラストだけでなく、建築やファッションなど各分野から集めた他、印刷技術や造本に関する本も展示しています。

2F エレベーターホール
「WEB書評って?」(～12/25) NEW!
「面白い本はどれ?」「あのひとは、どんな本を推しているのかな?」そんな時に参考になるのが、本の感想や評価を記した「書評」です。新聞や雑誌に掲載された書評をWEB上で読むことができる無料閲覧サイトの中から、鹿島茂氏が書評したものをピックアップし、関連資料とともにご紹介しています。

2F エレベーターホール
日比谷カレッジ「中島京子さん講演会 帝国図書館をめぐる、本を愛する人々の物語」関連展示 (～11/30) NEW!
日本初の国立図書館である帝国図書館を舞台にした小説『夢見る帝国図書館』には、震災や戦災をくぐり抜け「本を読みたい、学びたい」という市井の人々と、その気持ちに込められるべく奮闘した人々の、本を愛する歴史が描かれています。数々の文豪や「日比谷図書館」も登場するその世界をご紹介します。

3F グリーンゾーン
「集めてみた」(～2020. 2/14) NEW!
特別展にちなみ、「集」をキーワードにさまざまなモノ・コトを「集めてみた」展示です。「あなたが集めているもの」のアンケートも実施。一緒に「集めて」みませんか?

3F フォアゾーン
「ゲーム」(～12/13)
ゲームというコンピューターゲームを思い浮かべる人が多いかもしれませんが。この展示では使用する道具(ツール)ごとに分類して幅広くゲームの世界をご紹介します。それぞれのゲームで戦略性・対人スキルなど、どのような力が求められるのかを考えました。

展示 PICK UP

■2F パープルゾーン【江戸・東京】の本を集めたゾーン ～2020/1/17(金)

「劇場・映画の街 千代田」

「千代田区って何がある?」ときかかれたら、何と答えますか。官公庁に皇居、日本武道館、神田の古書店街、あとは秋葉原などでしょうか。いえいえそれだけではありません。千代田区には昔から劇場や映画館がたくさんあるのです。古いものでは帝国劇場、最近では日比谷ミッドタウンが話題になりました。この展示をきっかけに『劇場・映画の街 千代田』を再認識してみませんか。

現代芸能、映画、伝統芸能の大きく3つに分けて展示。

- 『歌舞伎の事典 演目ガイド181選』..... 藤田 洋著 新星出版社 2008年
- 『宝塚語辞典 宝塚歌劇にまつわる言葉はイラストと豆知識で華麗に読み解く』..... 春原 弥生著 誠文堂新光社 2017年
- 『インド映画完全ガイド マサラムービーから新感覚インド映画へ』..... 松岡 環 監修・編 世界文化社 2015年

■3F ブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン ～12/13(金)

「ゲーム」お薦めの本5選

球技、囲碁・将棋、カードゲームはもちろん、金融投資や恋愛をゲームに見立てた展示の中から5冊をご紹介します。

1	お金がない!	●赤塚 不二夫 / [ほか]著	●河出書房新社	●2018年
2	将棋観戦記コレクション	●後藤 元気 / 編	●筑摩書房	●2016年
3	球技の誕生	●松井 良明 / 著	●平凡社	●2015年
4	悪女入門	●鹿島 茂 / 著	●講談社	●2003年
5	いろはカルタに潜む江戸のこころ・上方の知恵	●藤本 義一 / [ほか]書き手	●小学館	●1998年

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

区立図書館へ行こう!

ライブラリークイズ&スタンプラリー Quiz Rally & Stamp Rally

千代田区立図書館5館にまつわる問題に答えていただくクイズラリーを開催します。全館を巡って全問解答した方には、オリジナルクリアファイルを差し上げます! また、5館のうち、3館のスタンプを集めるスタンプラリーも同時開催。秋の図書館巡りをお楽しみください。

会期 10月25日(金)～11月17日(日) 参加費無料 ※図書館によって休館日が異なります。

会場 千代田区立図書館 5館

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

日比谷図書文化館《特別展》

鹿島茂 コレクション アール・デコの造本芸術 ー高級挿絵本の世界ー

アール・デコが華やかだった20世紀初頭、革新的なデザイン感覚を持ったイラストレータと高度な技術を持った印刷職人とのコラボレーションにより次々と高級挿絵本が産み出されました。それはまた、先見の明ある編集者の登場と、裕福なパトロンが同時代に存在するという、幸福なできごとにより生まれた芸術でもありました。本展では、フランス文学者の鹿島茂氏の個人コレクションの中からアール・デコ四天王と呼ばれるバルビエ、マルティ、マルタン、ルバップの挿絵本やファッション・プレートなどを合わせて約100点を紹介します。アール・デコならではの優雅な世界や細部に至るまでこだわりぬいて制作された造本美など今もなお新鮮で、どこまでも美しい世界をご堪能ください。

10/24(木) → 12/23(月)

※観覧時間: 月曜～木曜10:00～19:00、金曜10:00～20:00、土曜10:00～19:00、日・祝10:00～17:00 ※入室は閉室の30分前まで
◎会場: 日比谷図書文化館 1階特別展示室 ◎観覧料: 一般300円、大学・高校生200円 ※千代田区民・中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方および付き添いの方1名は無料(住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳などをお持ちください) 協力: 株式会社ノエマ / 練馬区立美術館
※休館日: 11月18日(月)、12月16日(月)

展示構成

※展示構成は一部変更する場合があります。

1. アール・デコの挿絵本を紐解く
2. グラフィック・アート黄金時代を築いた4人
 - 2-1. ジョルジュ・バルビエ
 - 2-2. アンドレ・エドゥアール・マルティ
 - 2-3. シャルル・マルタン
 - 2-4. ジョルジュ・ルバップ
3. 四天王の饗宴 ファッション・プレート

画像大 ジョルジュ・バルビエ「ヴァイツラフ・ニジンスキーのダンスを描いたジョルジュ・バルビエのデッサン」より
画像小 ジョルジュ・バルビエ「アルペール・フランマン著『コメディの登場人物』1922年」
© NAO KASHIMA (NOEMA, Inc. JAPAN)

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

2019年11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2019年12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL: 施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

access

〔都営地下鉄〕
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
●丸ノ内線
●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

11・12月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

11/9 (土) 上廣歴史文化フォーラム 大奥に生きた女性たち

講師：渋谷 葉子(徳川林政史研究所研究員)、吉成 香澄(徳川林政史研究所研究員)、高田 綾子(徳川林政史研究所研究生)

大奥はテレビドラマになるほど人気のあるテーマですが、イメージが先行しており、必ずしも実態が正確に伝わっているとはいえません。この講座では、確実な史料に基づいて、大奥に生きた女性の生き方や役割を、徳川林政史研究所の気鋭の研究者が説き明かします。(主催：公益財団法人上廣倫理財団、協力：徳川林政史研究所、共催：日比谷図書文化館)



- 日時：11月9日(土)14:00～16:00※(13:30開場)※終了時間が前号と変更になりました。
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民・学生無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

『千代田の大奥 神田祭礼上覧』 国立国会図書館蔵

11/15 (金) 千代田区民講座 文化庁芸術作品賞 NHKスペシャル 林勝彦制作統括 『あなたの声が聞きたい ～“植物人間”生還へのチャレンジ～』を語る

講師：林 勝彦(元NHKエグゼクティブプロデューサー)

交通事故や脳卒中で植物状態になった人々を蘇らせようと、独自のプログラムに取り組む看護師たちの壮絶な挑戦をとらえた実録番組、1992年放送『あなたの声が聞きたい』。制作にあたった講師が、番組完成までの苦悩の裏話や、『遷延性意識障害』に真摯に取り組んだ地方病院の苦闘と感動を解説します。



(主催：NPO法人 神田雑学大学、共催：日比谷図書文化館)

- 日時：11月15日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：無料

11/17 (日) 「ぼくの村」から「東京」へ ～絵本作家小林豊さんの旅と作品～

講師：小林 豊(絵本作家) 聞き手：小櫻 浩子(ホブラ社)

旅で立ち寄った世界の村や人びと、そこで感じたあたたかい心を、独特な表現で描いてきた絵本作家の小林豊さんをお迎えして、旅、創作活動の源となった世界でのたくさんの出会いのこと、これまでの作品へ込めた思い、そして絵本作家として歩んできたこれまでの人生をお話いただきます。



- 日時：11月17日(日)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

11/20 (水) 星をたずねて・太陽

講師：皆川 敏春(星のソムリエ@みたか)、北崎 直子(星のソムリエ@みたか)

太陽。毎日当たり前のように輝く太陽。実は夜空に瞬く星とまったく同じなのをご存知でしょうか？昔は信仰の対象でしたが、現在は研究の対象となり、太陽活動が地球の環境や人体に影響を与える存在として知られるようになりました。今回はソムリエと共に太陽をたずねてみましょう。



「金環日食」撮影：皆川 敏春氏

- 日時：11月20日(水)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円

11/26 (火) 江戸歴史講座 第63回 日本人の心を豊かにした江戸の本屋

講師：橋口 侯之介(誠心堂書店店主)

日本人には庶民にいたるまでよく書物を読む好きな国民性がある。それは江戸時代にできあがった。よく工夫された本づくりで人びとを魅きつけたのだ。寺子屋では多くの子供たちが楽しい往来物で読み書きを習った。そうした社会の形成に本屋がどのような仕事をしたのか、新しい視点で解説する。



「読書と本屋」講師：橋口 侯之介氏 蔵

- 日時：11月26日(火)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民500円)

11/27 (水) 中島京子さん講演会 帝国図書館をめぐる、本を愛する人々の物語

講師：中島 京子(作家)

日本初の国立図書館である帝国図書館を舞台にした小説『夢見る帝国図書館』には、震災や戦災をくぐり抜け「本を読みたい、学びたい」という市井の人々と、その気持ちに応えるべく奮闘した人々の、本を愛する歴史が描かれています。「本を読むこと」は人生にどんな意味をもたらすか、図書館の歴史や戦後の女性の生き方などなど、著者の中島京子さんが語ります。



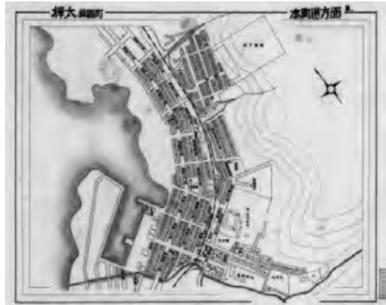
写真：川上 尚見

- 日時：11月27日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円

11/27 (水) 古書で紐解く近現代史セミナー 第35回 戦前期の樺太の街はいかにして建設されたのかー火災保険特殊地図をもとにした現地調査でわかったことー

講師：辻原 万規彦(熊本県立大学教授)

これまで戦前期の樺太の街並みが詳細に描かれた地図は、ほとんど存在が知られていませんでした。近年、『戦前期樺太火災保険特殊地図集成』(柏書房)の編者である講師らによって、「再」発見が進み、街の建設過程もわかるようになってきました。本講座では、講師による現地調査の成果もあわせ、当時の樺太の街の様子を紹介します。



火災保険特殊地図 樺太真岡町本町通方面 (発行：地図研究所 沼尻長治)日比谷図書文化館所蔵

- 日時：11月27日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民・学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

11/28 (木) ギアナ高地とドイルの『失われた世界』 作家の想像力とイギリス探険帝国主義

講師：山田 篤美(歴史研究者)

ギアナ高地のテーブルマウンテンには太古の恐竜が生き残っていた…。コナン・ドイルの『失われた世界』はギアナ高地の自然描写が正確そのもの。ドイルはこの地を訪れていないが、なぜ的確に描けたのでしょうか。憧れが侵略に変化した19世紀ギアナ高地探険の記録。ドイルの想像力の秘密に迫ります。



コナン・ドイルの『失われた世界』初版本の挿絵

- 日時：11月28日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円

12/13 (金) 食からアメリカを変革するーポストランブ時代の足音

講師：鈴木 透(慶應義塾大学法学部教授)

食べ物、それは、未来を切り開く可能性を秘めた記憶装置。本講座では、移民排斥や格差など閉塞感の漂う現代アメリカにおいて、ファーストフードの影に隠れた豊かな食文化の再発見を機に、食が新たな社会変革の基点に浮上つつある様子を紹介し、ランブ後の超大国の行方を展望します。



©Burgerlounge

- 日時：12月13日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円

文化財事務室◆歴史講座

地域の歴史を知る講座 「幕末明治の芸術家と番町麴町」

◆講師：洲脇 朝佳(日比谷図書文化館 学芸員)

著名な文化人たちとゆかりの深い番町麴町。本講座では、この界隈で活躍した幕末明治の芸術家に焦点をあて、その作品の魅力や活動を通じて行われた海外との美術・文化交流について解説します。

(主催：日比谷図書文化館文化財事務室) TEL 03-3502-3348



麴町ゆかりの河鍋晩斎筆「舞楽蘭陵王図幕絵」(千代田区指定文化財)

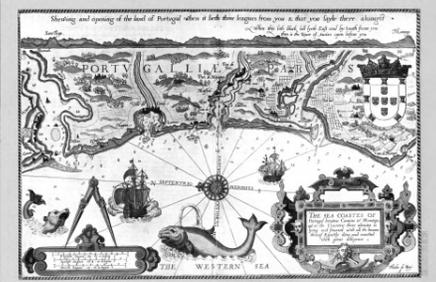
- ◆日時：12月21日(土)14:00～15:30 ◆会場：麴町区民館(千代田区麴町2-8)
- ◆定員：30名 ◆参加費：500円
- ◆申込方法：往復ハガキ(1枚で2名まで申込可)に、講座名、参加希望者全員の氏名(ふりがな)、郵便番号・住所、電話番号、年齢を記入の上、11月25日(月)必着で日比谷図書文化館文化財事務室までお送りください。なお、応募者多数の場合は千代田区民優先で抽選となります。
- ◆送付先：〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 日比谷図書文化館 文化財事務室

特別研究室企画展

内田嘉吉文庫の地理書から知る古書の世界 ～17-20世紀初頭の都市図を中心に～

■ 期間：開催中～12月28日(土) ■ 場所：4階 特別研究室

内田嘉吉文庫には図版が豊富な原書が多く、挿絵をご覧いただくだけでも楽しめる貴重な古書を多数所蔵しています。今回の企画展示では17～20世紀初頭に発行された世界各地の都市図に魅力がある地理書、さまざまな挿絵が収められた航海記を中心に展示しています。都市図からわかる街の成り立ちや、当時の世界各地の様子が目の前に広がる挿絵など古書の面白さに触れてください。尚この企画展示の関連講座を11月27日に開催いたします。詳細は11月の講座案内をご覧ください。



「Old Decorative Maps and Charts」(1926年)より 「The Coast of Portugal」



J. H. Levyssohn著 「Bladen over Japan」(1852年)より「出島」